

兵庫県のにり漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2023年11月22日発行

兵庫のにり研究所

海域全般に、依然として大型珪藻のコシノディスカスが多く確認されています。窒素は、漁場地先で概ね2~5 $\mu\text{g at/L}$ 台、明石海峡部~林崎場沖筋で概ね2~3 $\mu\text{g at/L}$ 台、魚住漁場以西の沖筋で概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均18.0℃ (ほぼ平年並、昨年比1.4℃低い)。
 (珪藻) 海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は増加傾向にある。各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は、東播漁場全般に1000~2000細胞(前回値:200~600細胞)、明石海峡部で400~500細胞(前回値:100細胞前後)であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	20.2	18.0	17.9	19.4
窒素	4.4	2.8	6.3	5.3
リン	0.73	0.56	0.61	0.57

(11/15)

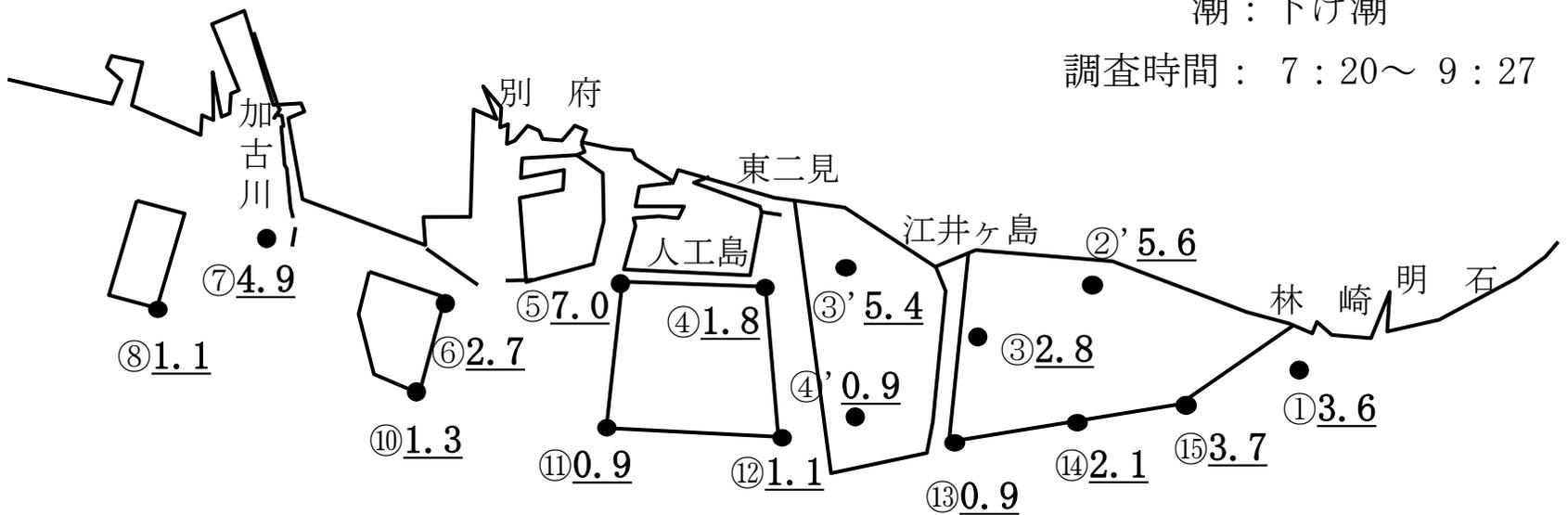
(11/22)

2023年11月22日調査

栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:20~9:27



水温図

